

報道関係各位

2016年12月13日

NEC ネットズエスアイ株式会社

**NEC ネットズエスアイの南極観測隊経験者による出前授業を
隠岐諸島の海士町と東京を ICT でつなぐ遠隔授業として開催
～東工大の学生とのフリーディスカッションも実施～**

NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役執行役員社長：和田 雅夫、東証：1973 NESIC、以下 NEC ネットズエスアイ）は、2016年12月18日に、島根県隠岐郡海士（あま）町（注1）の中学生・高校生を対象に、南極観測隊に参加した当社社員が南極の自然や暮らしについて紹介する出前授業「南極くらぶ」を、離れた空間同士を臨場感をもって映し出す「SmoothSpace」（注2）を利用した遠隔授業として実施します。本取り組みは、西日本電信電話株式会社（以下 NTT 西日本）と連携（光サービス提供事業者＝あま光ネット）して行います。

当社は1987年の第29次観測隊より、南極観測隊のメンバーとして国立極地研究所（注3）へ社員を派遣して人工衛星からのデータや宇宙からの電波を受信するシステムを昭和基地へ建設し、以来その運用・保守に携わっています（注4）。その貴重な業務体験をした当社の南極観測隊経験者が、南極の自然環境や観測隊の生活、そして昭和基地の設備や仕事について動画を交えて紹介する出前授業「南極くらぶ」を、学校を中心として実施しています。

今回は、「南極くらぶ」で初めての遠隔授業として開催します。立体面に映像を投影するプロジェクションマッピング技術を用いて遠隔地の空間をつなぐ「SmoothSpace」を活用し、海士町と当社飯田橋本社それぞれの様子が等身大の立体的な映像として投影され、あたかも隣にいるかのような環境のなかで双方向のコミュニケーションを大切にしながら授業を行います。

遠隔授業は海士町に居ながら島外の見聞を広げることができる取り組みとして期待されています。

さらに、高校生が「大学とはどんなところか」「どんな勉強をしているのか」といった情報に接する機会を用意するため、「南極くらぶ」終了後、当社がオフィス改革に取り組むにあたりご協力いただいている、知的創造型ワークスタイルを研究する東京工業大学 妹尾大准教授（注 5）の研究室の学生に飯田橋本社に集まっただき、海士町の高校生とのフリーディスカッションも予定しています。

■海士町での「南極くらぶ」開催の概要

日時：2016年12月18日（日）

14：30～ 出前授業「南極くらぶ」

16：30～ 東京工業大学学生とのフリーディスカッション

場所：島根県隠岐郡海士町 島前交流研修センター「三燈」

および NEC ネットズエスアイ本社

（文京区後楽 2-6-1 飯田橋ファーストタワー）

対象者：海士町在住の中学生および高校生

主催：NEC ネットズエスアイ株式会社

協力：NTT 西日本、東京工業大学 妹尾大研究室

■ SmoothSpace を使った遠隔授業のイメージ



以上

注1：島根半島沖合約 60km に浮かぶ隠岐諸島の一つ、中ノ島(面積 33.46km²、周囲 89.1km)の全島が海士町。

注2：空間と空間をつなぐ新たなコミュニケーション SmoothSpace (スムーズスペース)
<http://www.nesic.co.jp/solution/eo/smoothspace.html>

注3：大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所
<http://www.nipr.ac.jp/>

注4：当社と南極との関わり、南極観測隊員からのレポートはこちらをご覧ください。
<http://www.nesic.co.jp/antarctic/index.html>

注5：東京工業大学工学院 経営工学系 准教授
妹尾研究室 <https://sites.google.com/site/senoodallab/home>

※SmoothSpace は NEC ネットスペースアイ株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、サービス名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

エンパワードオフィス事業統括本部

電話：(03) 6699-7502

E-mail：si-cafe@dm.nesic.com

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

CSR コミュニケーション部 コーポレートコミュニケーショングループ

電話：(03) 6699-7007

E-mail：contact@dm.nesic.com